

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のかくかくドドド立ててくさ

国立市立国立第七小学校

平成29年5月31日 NO.23 (423)

白い花



緑の葉

ヤマボウシ

オー君 「モンタ博士、この花は、校長室前にあったものですね。」

モンタ博士「そのとおりだよ。よく見てくれてありがとう。これはヤマボウシという花さ。

モンタ博士のおうちに咲いてて、とてもきれいなので、みんなに見てもらいたくて持ってきたんだよ。」

花ちゃん 「白い花と緑の葉っぱがとてもいいですね。」

モンタ博士「そうだね。白と緑のコントラストがいいね。ヤマボウシの花は、初夏にぴったりの花だね。さわやかな感じがいいね。」

オー君 「初夏にぴったりというのは、どういうことですか。」

モンタ博士「これからの季節には、白い花がよく目につくということさ。」

オー君 「どうして白い花が多いのですか。」

モンタ博士「葉っぱをよく見てごらん。春のころはまだ葉っぱが若い感じで、黄緑色っぽかったけど、今は葉っぱの色もこくなってきてでしょ。それで白い花がよく目立つということなんだ。よく目立つということは、虫たちにとってもうれしいということさ。」

オー君「なるほど、そういうことですか。昔から花と虫はなかよしだったのですね。」

花ちゃん「そうですね。今の季節は白い花が多いですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。花ちゃん！今ごろ咲く花で白い花はどんなものがあるだろうね。」

花ちゃん「わたしの好きな花では、もう終わってしまったものもあるけど、ニセアカシア、エゴノキ、ウツギ、ミズキ、ヤブデマリ、ガマズミ、ノイバラ、また、白っぽい花も入れれば、ホオノキ、スイカズラなどもいいですね。」

オー君「スイカズラという植物も校長室前にありましたね。ぼく見たよ。」

モンタ博士「それはそれはよく気がついたね。」

オー君「ところで、ヤマボウシというのは、どういう意味ですか。山と帽子なの。」

モンタ博士「いい質問だね。植物の名前の由来、名前のわけを知るとは、とても大切なことだね。このヤマボウシとは、漢字では『山法師』と書き、白い部分が頭巾をかぶった法師（おぼうさん・僧）みたいだからなのさ。」

花ちゃん「モンタ博士、このヤマボウシは、春5月はじめに谷保駅前にたくさん咲いていたハナミズキによく似ているようですね。」

モンタ博士「そのとおり。さすがは花ちゃん。感心だね。よく覚えていたね。よく見ていたね。そのハナミズキとヤマボウシとは同じミズキ科の仲間なんだよ。」

オー君「すごーい。花ちゃん。さすがだね。」

モンタ博士「同じ仲間みたいだと思うこと、よく似ているなと感じることが大切なんだ。生き物の世界はいろいろあるからね、名前を知ること大事だけど、それ以上何の仲間かわかることが大切だね。」

オー君「生き物の世界って、いろいろなものがあるんですね。」

花ちゃん「これからもいろいろ探しに、みんなでてくてくしましょう。」